

第2グループ テーマ

地域・学校・家庭の連携のあり方

地域・学校・家庭の連携に関する現状と課題

現状

- 子どもたちを取り巻く環境や**学校が抱える課題は複雑化・多様化し**、学校だけでは解決できない課題が増えている。
- 核家族化やひとり親家庭、共働き世帯の増加等といった家族形態の多様化により、7割程度の保護者が子育てに悩みや不安を感じている。**

課題

- 学校や地域の中で子どもたちが健やかに成長するためには、**地域と保護者、学校が一体となり**、地域ぐるみで学校を運営していく必要がある。
- すべての教育の出発点である家庭教育は、子どもの心身の調和のとれた発達を図るうえで重要であり、家庭教育への支援を充実していく必要がある。

区の主な取組

◆コミュニティ・スクールの導入

・学校と保護者や地域の方々とともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映し、「地域とともにある学校づくり」を推進。

・地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、地域団体など幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を推進。

地域と連携した安全・安心活動



登下校時の見守り活動



自転車安全教室



PTA地域安全パトロール



町会別集団下校訓練

区の主な取組

地域資源を活用した活動



伝統文化学習
(長崎獅子舞)



学びのサポーターによる
町探検地域学習



地域語り部紙芝居

企業・大学と連携した事業



服のチカラプロジェクト



大正大学との連携



家庭科：栄養大学生による食育指導

コミュニティ・スクールにより期待できる効果

① 保護者・地域住民等が子どもへ携わる機会の増

② 子どもたちの学びや体験が充実

③ 保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現

子どもたちにとって

- 学びや体験活動が充実
- 地域の担い手としての自覚が高まる
- 地域に見守られている安心感が高まり、地域愛が育まれる

地域の人々にとって

- 経験を活かすことで生きがいややりがいにつながる
- 学校を中心に地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながる
- 将来の地域の担い手を育むことができる

魅力

学校にとって

- 地域の力を活かした学校運営等が実現する
- 学校の課題に対して、保護者や地域住民等と一緒に対応することができる
- 役割分担により、子どもと向き合う時間や質の高い授業づくりの時間が確保できる

保護者にとって

- 学校や地域に対する理解が深まる
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感が高まる
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できる

家庭教育支援体制の強化 区の主な取組

◆家庭教育支援

- ・親子のコミュニケーションを豊かにするために、家庭教育に関する情報を発信。
- ・PTA研修会をはじめとするPTA活動の支援をとおして、家庭と学校、地域が協力しあい、地域全体で子どもを育てる体制を整備。
- ・家庭教育に関するワークショップや講演会等を開催し、家庭の教育力の向上をめざす。

PTA研修会



家庭教育推進員
学習発表会

